

2013年3月6日

印西市中央駅北地区町内会・自治会連絡会
代表 福場 正弘 様
印西市立木刈中学校PTA
会長 松崎 比呂美 様

北総線の運賃値下げを実現する会
会長 山下 兼男

「北総線利用者の負担軽減を求める署名」についての質問

早春の候、あなた様におかれては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私共「北総線の運賃値下げを実現する会」は、永年、北総線の運賃値下げを求めて白井市、印西市を中心に運動している住民団体ですが、この度、あなた様方ご両名の連名で「北総線利用者の負担軽減を求める署名」を沿線住民・利用者によびかけ、印西市の中央駅北地区町内会自治会連絡会の会員を対象に署名運動を行っていると聞き及びました。

その署名簿を拝見したところ、その内容は、北総線の運賃値下げの正しい解決にとって見過ごせない問題点と、私たちの運動方向を妨げる内容が含まれていると思われまので、署名運動の意図と文面からは伺えないいくつかの疑問点についてお尋ねし、あわせて、集められた署名の扱い方について要望をいたしたく、この文書をもって公開質問をさせていただきます。

ご回答は、3月末日までに下記事務局に宛て、郵送・FAX・メール等いずれかの方法でお送り下さいますようお願いいたします。

記

質問1. この署名の要望事項は、「記(1)(2)(3)」とあります。

前文の「『万が一、財政支援がなくなった場合、北総線運賃が現状より高くなるのでは』と不安視しております。(中略)これらのことと『北総線運賃の負担軽減』とは切り離すことはできないと考え」という文章と(1)の文章を続けると、これらの文脈全体は、端的にいうと「財政支援を続けて、現行レベルの負担軽減(運賃の水準)を平成27年4月1日以降も継続する」という意味であると受け取れます。

要望事項(1)はそういう内容であると理解して良いでしょうか。この理解が間違いなら正しい意味を教えてください。

質問2. 署名を集める際に、提出先や提出方法を明記しないなどというのは、署名収集の基本的要件を欠いています。この署名の①差出人の団体名と代表者名、②提出先の団体名と代表者名、③提出時期と方法、④提出後のとりくみ方について教えてください。

質問3. 平成27年度以降の補助金については、白井市長は「支出しない」と議会で明言し、印西市長も「補助金は出さない」と選挙で公約しています。この署名運動提起の際あなたはこのことを知っていましたか。知らなかったのでしょうか。この署名運動の検討段階で、この情報は誰からも伝えられなかったのでしょうか。

質問4. この署名運動へのとりくみは、お二人が代表（会長）名を掲げているところから、それぞれ所属する団体内で機関決定された結果と拝察しますが、この署名運動を提唱するに至った動機、経緯について教えてください。

質問5. ご存知のように、平成21年11月30日締結の合意書の平成27年度以降の取扱いについては、その終期が近づくとつれ、千葉県及び関係6市で補助金を継続するか、しないかの大きな政治問題になってくるのは確実です。そうしたとき、この署名が「補助金を継続すべし」と主張する党派によって、趣旨の曖昧さをいいことに「住民の要望」と歪曲して利用されることがあってはなりません。

この署名の提出先には、特定の主張に同調するような意図はないこと、そのような利用のされ方は厳しく排除すると伝えることを強く要望します。このことを確約していただけますかどうか、質問いたします。

以 上

事務局：〒270-1424 千葉県白井市堀込 2-1-5-704 間嶋 博
TEL&FAX：047-492-4537 mail:mashima5704@nifty.com